

Mission

新しい幸せを、わかすこと。

家庭でお風呂に入るということを普及させたい。

創業者は、海軍兵学校時代の厳しい訓練後に許されたわずかな時間の入浴で心を癒した経験から、「お風呂は人を幸せにする」を創業の原点として掲げました。

当時、創業者が幸せを感じたお風呂は、時を経て日本人にとって「なくてはならない」ものとなっています。2030年に向けて私たちが目指すのは、この「幸せ」を広げることです。

**“お湯をわかす会社”から、“新しい幸せをわかす会社”へ。
ノーリツは、日々の暮らしの新しい幸せを広げていきます。**

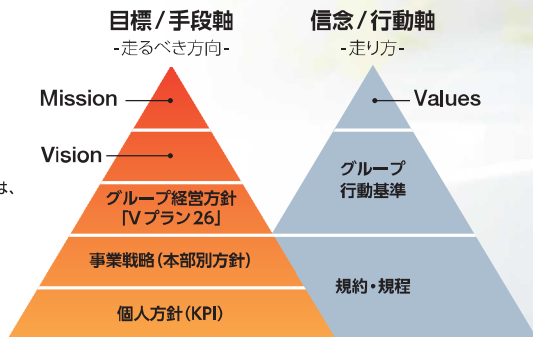
Vision

**「なくてはならない」を、
届けつづけるために。**

キッチンの火から、一日がはじまり。
お風呂のお湯で、一日が終わる。ノーリツが届けてきたのは、
あたりまで欠かせない毎日の大切なシーン。
その価値を、途切れさせることなく、
より「なくてはならない」ものにするために。
いまあるものを見つめ、どこまで深化させて
いくことができるのか、取り組みます。

**「なくてはならない」を、
新しくつくるために。**

日本だけでなく、世界という「成長市場」で。
研究開発やものづくりにおける「新価値創造」で。
家庭向けに留まらない、新しい「領域」で。
お客さまとの新しい「つながり方」で。
持続可能な社会の実現に向けた「社会課題解決」で。
新しい「なくてはならない」をつくるために。
常識を捨て、あらゆる可能性をどこまで探索して
いくことができるのか、取り組みます。



Values

すべては挑戦からはじまる。

**挑戦の前に、思いがある。
挑戦は、一人で踏み出すことから。
挑戦は、諦めないでやりきること。**

編集方針

発行にあたって
ノーリツグループの価値創造につながる財務と非財務のかかりを示した「NORITZ REPORT」は、2015年の初回発行から今回で12回目の発行となりました。ノーリツグループの価値創造についての考え方を、より多くの投資家の皆さまに知っていただくためのコミュニケーションツールとして作成しています。より詳細な内容につきましては当社ウェブサイトをご覧ください。 制作チーム一同

将来の見通しについて

本報告書に記載されている、ノーリツおよびノーリツグループの2026年3月31日時点の計画・戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の見通しであり、リスクや不確定な要素を含んでいます。実際の業績などは、様々な要因によりこれらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

掲載期間

2025年度(2025年1月1日~12月31日)
※一部2026年3月31日時点の情報を含んでいます。

対象範囲

株式会社ノーリツおよび国内外のグループ会社

参考ガイドライン等

国際統合報告フレームワーク、SDGs、ISO26000、GRIスタンダード、SASBスタンダード、国連グローバル・コンパクト、経団連企業行動憲章、経済産業省価値協創ガイダンス

前回発行日: 2025年5月 次回発行日: 2027年5月予定

目次

ノーリツについて

- 1 理念体系・編集方針
- 3 ノーリツの歴史
- 5 ノーリツの今

価値創造ストーリー

- 7 社長メッセージ
- 11 価値創造プロセス
- 13 ノーリツの技術力と環境配慮
- 14 特集:「自然冷媒ハイブリッド給湯機」が呼び起こすゲームチェンジの可能性

価値創造の戦略

- 17 2030年 Vision 実現へのロードマップ
- 19 財務戦略・CFOメッセージ
- 21 中期経営計画[Vプラン26]概要と進捗
- 22 重点戦略1 事業ポートフォリオの変革
- 23 重点戦略2 戦略投資の拡大と資本政策
- 25 重点戦略3 サステナビリティ経営の推進
- 36 コーポレートガバナンス
- 39 社外取締役メッセージ

会社・株式情報

- 40 会社・株式情報

ノーリツの歴史

社会の環境変化や多様なエネルギーに対応した製品開発を通じ、「価値」を提供し社会とともに成長をつづけてきました。これからも事業活動を通じて、お湯のある暮らしに貢献していきます。

製品の歴史

石炭からガス・石油へ

給湯器が一般家庭へ普及しはじめた頃
高度経済成長期には、団地にも浴室がつくように

1951 燃料 薪・石炭

能率風呂A型・B型

1950年代までのエネルギーは薪や石炭が一般的。戦後に、少ない燃料で能率よくお風呂をわかせる商品として、さまざまなタイプの風呂「能率風呂A型・B型」を発売



1966 業界初
点火が容易になった「圧電点火式コンロ」

1968
空焚き防止安全装置「ガスカット」付きのガス風呂釜発売



1961 燃料 ガス

アルミ製ガス風呂釜「GS釜」

1960年代は家庭のエネルギーがガスへと転換。「ガス釜は銅製」という常識を覆し、高効率でデザイン性に富んだアルミ製「GS釜」を発売

エネルギーの多様化

風呂給湯器の全自動化が一層進み、
多機能シャワーブースも到来。快適なバスタイフ時代に

1970 浴室内からの種々の点火・消化ができる「マジンコン」

1983 燃料 ガス 業界初
全自動ガスふろ給湯器「GRQ-1600A」
初の全自動タイプの給湯器を販売。ボタン一つでお湯張りができるようになり、使用者の利便性が飛躍的に向上

1982 強制追いだき式ふろ給湯器「ユコアGT」

1993 環境に配慮した「低NOxバーナ」

1970～90年代

1997 業界初
自動で浴槽を洗浄する「おそうじ浴槽」

1997
音声とメロディでお風呂がわいたことを知らせる「音声ボイスリモコン」誕生

1977 燃料 ガス、電気を初導入 業界初
ガス瞬間貯湯式給湯器「ユービック」

業界で初めてガス給湯器に電気を導入しました。これにより、小型ながらパワフルで安定した出湯能力を誇り、室内からリモコン操作での点火が可能に



温暖化への要請

省エネ対策とともに、マルチエネルギーに対応した
製品開発で付加価値を提供

2002 燃料 ガス
高効率ガス給湯器「エコジョーズ」

給湯器の排熱を再利用して効率的にお湯をわかす新発想の給湯器を発売。優れた省エネ性能を搭載し、環境にもお財布にも配慮した給湯器が誕生

2014 業界初
煮る、蒸す、焼く1台3役のマルチグリル



2017 高効率ガス給湯器に見まもり、除菌機能搭載

2023 キレイなお湯でお風呂をもっと気持ち良くするオゾン水除菌ユニット「AQUA OZONE」と睡眠をサポートする人体熱モデル技術「HIITO」を搭載



2000年代

2010 燃料 ガス・太陽熱
暖房機能付き熱源一体型ソーラーシステム

熱源機と貯湯タンクが一体となったソーラーシステムに暖房機能を追加し、補助熱源機に高効率タイプの給湯器「エコジョーズ」を搭載。太陽エネルギーを給湯だけでなく、床暖房にも利用



2023 燃料 水素
水素100%燃焼給湯器プロトモデル発表

カーボンニュートラル社会に向け、CO₂を排出しない燃料として有望視されている「水素」を100%燃料とする給湯器の開発に成功。現行の家庭用給湯器の最大能力を実現することで、安全性を担保しつつも変わらない快適性を提供



2024 ラク家事浴室暖房乾燥機「シャーン」

オゾン水除菌技術「AQUA OZONE」を活用した浴室キレイ機能を搭載。天井からのオゾン水散布と換気・乾燥の自動運転により、浴室内の清潔維持と家事負担軽減を図る浴室暖房乾燥機



2030年Vision

「なくてはならない」を、
届けつづけるために。
「なくてはならない」を、
新しくつくるために。

2025 燃料 ガス・電気
自然冷媒ハイブリッド給湯機「HPHB R290」

ノンフロン自然冷媒R290と新スマート制御を組み合わせ、高効率な給湯運転を実現。ヒートポンプとガス併用による安定供給に、太陽光連携や防災対応、施工性向上を備えた多様な住環境に適応する設計



会社の出来事

1951 神戸市に「能率風呂工業株式会社」を設立



1956 研究所を兵庫県工業奨励館内に設立



1957 日本の中小企業で初めて社債を発行

1962 明石工場を兵庫県明石市に新設



1968 商号を「株式会社ノーリツ」に変更

1984 大阪証券取引所市場第二部に上場
企業ロゴマークを変更。英語表記を「NORITAC」に



1985 東京証券取引所市場第二部に上場

1986 明石市南二見に中央研究所を建設



1987 東京・大阪証券取引所市場第一部に指定

1990 明石本社工場を建設



1993 海外展開 中国事業開始
上海市に合併会社「上海水仙能率有限公司」を設立

2002 北米進出
カリフォルニア州に「NORITAC AMERICA CORPORATION」を設立



2004 「能率香港/能率(上海)住宅設備有限公司」設立

2011 中期経営計画「Vプラン16」を始動
環境機器開発センター竣工

2011 ノーリツエレクトロニクステクノロジーを吸収合併
ハーマンの営業機能の一部をノーリツに統合



2013 「コンタクトセンター」を竣工



2017 中期経営計画「Vプラン20」を始動

2021 中期経営計画「Vプラン23」を始動

2021 脱炭素・DX・ウェルネス分野の発展を目指し、
神戸大学とノーリツが包括連携協定を締結



2024 中期経営計画「Vプラン26」を始動

2025 株式会社荻原製作所の子会社化

ノーリツの今

保有するコア技術

燃焼制御技術	熱交換技術	流体制御技術
各国の規制・低炭素化に対応可能な燃焼方式	排気熱を回収する潜熱回収型熱交換器	水・ガス・空気などの流体を制御する技術

高付加価値な技術ラインアップ

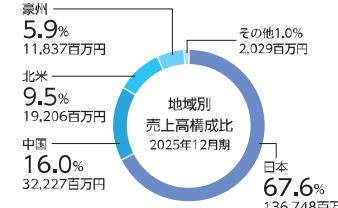
温水 低NOx・全1次 水素燃焼 空気燃焼 技術	潜熱回収型熱交換器	プロテックメカ	新機能 オゾン水除菌ユニット「AQUA OZONE」 人体熱モデル技術「HIITO」
厨房 スマートエコバーナー 熱効率を向上			

住宅向け温水空調分野	厨房分野	非住宅分野
 <p>給湯機器、温水暖房機器、ガスファンヒーター、ガスコージェネレーション、燃料電池用貯湯タンク、太陽熱温水器</p>	 <p>ガスビルトインコンロ、ガステーブルコンロ、レンジフード、ビルトインオーブンレンジ</p>	 <p>業務用給湯機器、熱ソリューション、産業用太陽光発電システム、保守・メンテナンス</p>

事業

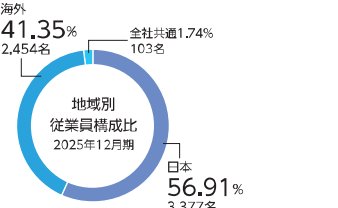
設立年 1951年	給湯機器 国内シェア 約40%	お客さま(ユーザー)とのつながり 506万件 (国内グループ)	純資産 145,029百万円 (連結)
自己資本比率 59.0% (グループ)	従業員 5,934名 (グループ)	研究開発人員 505名 (グループ)	海外人員比率 41.4%
製造拠点 国内 8社 海外 7社	グローバル展開		

地域別 売上高構成比 2025年12月期



豪州 5.9% (11,837百万円)
北米 9.5% (19,206百万円)
中国 16.0% (32,227百万円)
日本 67.6% (136,748百万円)
その他1.0% (2,029百万円)

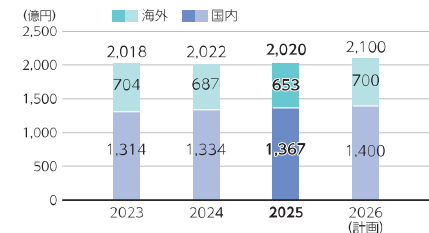
地域別 従業員構成比 2025年12月期



海外 41.35% (2,454名)
日本 56.91% (3,377名)
全社共通1.74% (103名)

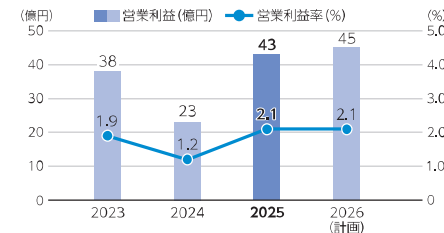
財務データ

売上高

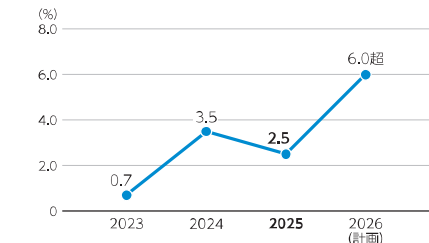


※2024年12月期より、報告セグメントの算定方法を変更しており、2023年12月期の数値を変更後の算定方法により組替えた数値で比較しております。

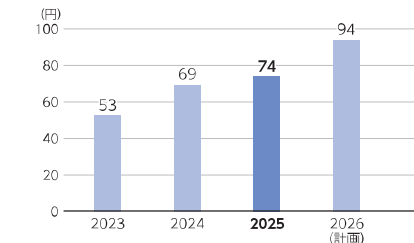
営業利益／営業利益率



ROE

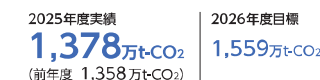


1株当たりの配当金

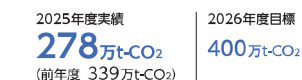


非財務データ

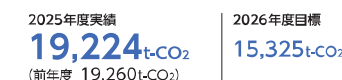
製品使用によるCO₂排出量 (国内グループ)



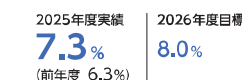
海外CO₂貢献量 (グループ)



事業活動によるCO₂排出量 (国内グループ) ※1



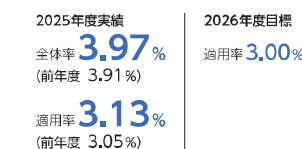
女性管理職登用比率 (単体)



障がい者雇用者数 (国内グループ) ※2,3,4



障がい者雇用率 (国内グループ) ※2,3,4



※1 2025年実績は2025年度実績用都市ガス排出係数が未公表につき、2024年度実績用排出係数にてCO₂排出量を算出し、第三者保証取得中。
 ※2 百年度6月末時点での集計値。
 ※3 雇用者数および雇用率は、重度障がい者を2人分、短時間勤務障がい者を0.5人分として人数カウント見出し。
 ※4 障がい者の法定雇用率は2024年4月から2026年6月まで2.5%、2026年7月から2.7%。